

文化遺産保護に関する国際情報の収集・研究・発信 (コ01)

目的 文化遺産の保護制度や施策の国際動向及び国際協力等の情報を収集、分析して活用するとともに、国際共同研究を通じて保存・修復事業を実施するために必要な研究基盤整備を行う。また、研究機関間の連携強化や共同研究、研究者間の情報交換の活発化、継続的な国際協力のネットワーク構築を推進する。

成果 1. 文化遺産保護に関する情報収集のため、以下の国際会議やシンポジウム等に出席した。収集した情報はデータベース等に蓄積するとともに、『世界遺産年報2018』所収「第41回世界遺産委員会ニュース」などを通じて成果の公表を行い、後述の世界遺産研究協議会を開催して関係自治体等関係者に対して情報の周知を図った。



第41回世界遺産委員会（ポーランド・クラクフ）

- ・2017（平成29）年7月2日～12日 第41回世界遺産委員会（クラクフ）
 - ・2017（平成29）年11月14日～15日 第21回世界遺産条約締約国総会（パリ）
 - ・2017（平成29）年11月29日～12月1日 第30回国際文化財保存修復研究センター総会（ローマ）
 - ・2017（平成29）年12月19日～21日 ACCU奈良主催国際会議「アジア太平洋地域における文化遺産保護人材養成の実情と課題」等
2. 文化遺産保護に関する情報収集のため、以下の調査を行った。収集した情報はデータベース等に蓄積するとともに、情報共有を行った。
- ・2018（平成30）年2月6日 新潟県・佐渡市（世界遺産の推薦書作成作業についての調査）
 - ・2018（平成30）年3月26日～28日 長崎県長崎市、小値賀町、新上五島町（世界遺産の推薦書作成作業についての調査）
3. 文化遺産保護関連の法令の収集・分析及び翻訳作業を実施し、『各国の文化財保護法令シリーズ[22] 韓国』を刊行した。
4. 上記の成果について広く共有を図るため、「世界遺産研究協議会」を開催し、関係自治体等に対して得られた情報・知見の周知を図った。

報告・二神葉子「第41回世界遺産委員会ニュース」（取材協力）『世界遺産年報2018』日本ユネスコ協会連盟編 18.1

発表・二神葉子「世界遺産委員会に見る諮問機関の評価とその課題」世界遺産研究協議会 18.1.18
・境野飛鳥「第41回世界遺産委員会の報告」世界遺産研究協議会 18.1.18

刊行物・『各国の文化財保護法令シリーズ[22] 韓国』東京文化財研究所 18.3
・『世界遺産研究協議会「世界遺産推薦書の評価のプロセスと諮問機関の役割」』東京文化財研究所 18.3

研究組織 ○中山俊介、西和彦、境野飛鳥、増渕麻里耶、橋本広美、石田智香子（以上、文化遺産国際協力センター）、二神葉子（文化財情報資料部）